



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年2月8日

上場取引所 東名

上場会社名 澁谷工業株式会社

コード番号 6340 URL <http://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日

平成25年3月18日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	32,714	12.9	697	337.6	724	339.0	152	—
24年6月期第2四半期	28,967	17.7	159	—	164	—	△452	—

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 417百万円 (—%) 24年6月期第2四半期 △545百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年6月期第2四半期	5.52	—
24年6月期第2四半期	△16.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年6月期第2四半期	81,568	28,914	35.4	1,043.19
24年6月期	83,882	28,695	34.1	1,033.08

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 28,866百万円 24年6月期 28,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年6月期	—	5.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	77,000	12.9	2,700	148.1	2,700	124.3	1,150	423.6	41.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料P3、2サマリー情報(注記事項)に関する事項「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期2Q	28,149,877 株	24年6月期	28,149,877 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	478,881 株	24年6月期	478,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期2Q	27,671,070 株	24年6月期2Q	27,671,285 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要やエコカー補助金などに支えられ緩やかな回復傾向にあったものの、海外経済の減速を受けて先行き不透明な状況が続くなか、12月の総選挙の結果、自公政権が復活し、年末にかけて政策による景気持ち直しの期待感から株価も上昇し、為替レートも円安基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は327億14百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益6億97百万円（前年同期比337.6%増）、経常利益7億24百万円（前年同期比339.0%増）、四半期純利益1億52百万円（前年同期は四半期純損失4億52百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(パッケージングプラント事業)

パッケージングプラント事業において、酒類用プラントおよび食品用プラントの売上が大きく伸長しました。特に食品用プラントでは、中国や東南アジアへの飲料用無菌充填ラインの納入が複数あり、売上が牽引しました。薬品・化粧品プラントでは、価格競争の激化や大手製薬メーカーの設備投資がほぼ一巡したことによる一服感もあり、前年同期に比べ大きく減少しました。

その結果、連結売上高は186億67百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は12億70百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(メカトロシステム事業)

メカトロシステム事業において、半導体製造装置は東アジアでのLED関連装置の設備投資抑制が継続し伸び悩んだものの、前期に連結子会社となった(株)カイジョーが寄与し、売上高は前年同期に比べて増加しました。切断加工機は前年同期に比べほぼ横ばいに推移し、医療機器は、アジア、中南米向けの販売が好調で前年同期に比べ増加しました。

その結果、連結売上高は70億89百万円（前年同期比58.4%増）、営業損失は12億10百万円（前年同期は営業損失5億21百万円）となりました。

(農業用設備事業)

農業用設備事業において、柑橘類向け大型選果選別プラントが前年同期に比べて減少したものの、落葉果樹類、野菜・果菜類向け選果選別プラントは、東日本地域での大型プラントの納入が寄与し大きく伸長しました。

その結果、連結売上高は68億55百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は16億34百万円（前年同期比268.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比23億14百万円減の815億68百万円となりました。有利子負債については、前連結会計年度末比6億71百万円増の156億8百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末比2億19百万円増の289億14百万円となり、自己資本比率は35.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、18億38百万円の資金増加（前年同期は10億11百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が6億32百万円となり、仕入債務の減少額39億8百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費8億29百万円、売上債権の減少額59億44百万円ならびに前受金の増加額17億41百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億47百万円の資金減少（前年同期は56百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が10億円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億9百万円の資金減少（前年同期は10億84百万円の資金減少）となりました。これは主に、借入金の返済によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より2億14百万円増加し85億43百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成24年11月9日に公表した連結業績予想を以下の理由により修正しております。

売上高については、主にパッケージングプラント事業において、一部の客先で設備投資の判断が遅れ気味に推移していることから、前回予想に比べ1.3%減少の770億円に修正しております。

利益面については、売上高の減少に伴い営業利益および経常利益は27億円、当期純利益は11億50百万円と、それぞれ前回予想に比べ、12.9%、10.0%、28.1%の減少を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,604	8,757
受取手形及び売掛金	29,547	23,830
製品	350	345
仕掛品	7,224	8,575
原材料及び貯蔵品	1,750	2,166
繰延税金資産	867	887
その他	1,339	1,478
貸倒引当金	△18	△5
流動資産合計	49,665	46,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,123	11,781
機械装置及び運搬具(純額)	1,510	1,548
土地	11,514	11,743
建設仮勘定	188	149
その他(純額)	706	712
有形固定資産合計	25,043	25,935
無形固定資産		
のれん	2,335	2,271
その他	306	289
無形固定資産合計	2,642	2,560
投資その他の資産		
投資有価証券	3,263	3,553
長期貸付金	9	10
繰延税金資産	2,511	2,699
その他	794	816
貸倒引当金	△48	△45
投資その他の資産合計	6,531	7,035
固定資産合計	34,217	35,532
資産合計	83,882	81,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,790	16,177
1年内償還予定の社債	60	60
短期借入金	4,931	5,704
未払法人税等	556	762
未払費用	4,340	2,796
賞与引当金	317	317
受注損失引当金	266	94
製品保証引当金	101	97
その他	4,129	5,594
流動負債合計	34,493	31,605
固定負債		
社債	30	—
長期借入金	9,915	9,844
退職給付引当金	10,040	10,520
役員退職慰労引当金	338	319
繰延税金負債	184	184
その他	184	179
固定負債合計	20,693	21,048
負債合計	55,186	52,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,358	10,358
利益剰余金	7,768	7,782
自己株式	△429	△429
株主資本合計	29,088	29,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△465	△221
繰延ヘッジ損益	△4	10
為替換算調整勘定	△32	△25
その他の包括利益累計額合計	△502	△237
少数株主持分	109	48
純資産合計	28,695	28,914
負債純資産合計	83,882	81,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	28,967	32,714
売上原価	25,147	27,314
売上総利益	3,819	5,400
販売費及び一般管理費	3,660	4,702
営業利益	159	697
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	27	32
投資有価証券売却益	0	2
持分法による投資利益	1	1
固定資産賃貸料	30	36
その他	77	118
営業外収益合計	143	199
営業外費用		
支払利息	83	98
手形売却損	8	4
投資有価証券売却損	5	3
為替差損	13	—
その他	26	65
営業外費用合計	138	172
経常利益	164	724
特別利益		
固定資産売却益	1	10
その他	—	0
特別利益合計	1	10
特別損失		
固定資産売却損	—	9
固定資産処分損	4	35
投資有価証券評価損	162	—
退職給付費用	—	52
その他	11	4
特別損失合計	179	101
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12	632
法人税、住民税及び事業税	295	707
法人税等調整額	144	△227
法人税等合計	440	480
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△452	152
少数株主損失(△)	△0	△0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△452	152

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△452	152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	244
繰延ヘッジ損益	△0	14
為替換算調整勘定	2	6
その他の包括利益合計	△92	265
四半期包括利益	△545	417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△544	418
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△12	632
減価償却費	781	829
のれん償却額	109	186
退職給付引当金の増減額(△は減少)	311	445
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△53	△19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△20
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28	△1
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△17	—
受注損失引当金の増減額(△は減少)	22	△172
受取利息及び受取配当金	△32	△39
支払利息	83	98
持分法による投資損益(△は益)	△1	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	5	1
投資有価証券評価損益(△は益)	162	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,295	5,944
前受金の増減額(△は減少)	381	1,741
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,212	△1,324
仕入債務の増減額(△は減少)	1,443	△3,908
前渡金の増減額(△は増加)	△4	△428
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△1,775	△1,608
未払又は未収消費税等の増減額	428	△362
その他	346	278
小計	1,231	2,271
利息及び配当金の受取額	29	35
利息の支払額	△80	△95
法人税等の支払額	△170	△371
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,011	1,838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△136	△136
定期預金の払戻による収入	736	197
投資有価証券の取得による支出	△42	△10
投資有価証券の売却による収入	39	77
有形固定資産の取得による支出	△926	△1,000
有形固定資産の売却による収入	2	134
無形固定資産の取得による支出	△45	△105
子会社株式の取得による支出	—	△415
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	160	294
補助金の受取額	185	114
その他	△28	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56	△847

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,530	5,027
短期借入金の返済による支出	△5,576	△5,210
長期借入れによる収入	12	700
長期借入金の返済による支出	△871	△1,148
社債の償還による支出	△30	△30
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△138	△138
その他	△10	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,084	△809
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△137	214
現金及び現金同等物の期首残高	5,721	8,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,583	8,543

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,239	4,475	6,091	28,807	160	28,967	—	28,967
セグメント間の内部 売上高又は振替高	325	1	270	597	35	633	△633	—
計	18,565	4,477	6,362	29,404	195	29,600	△633	28,967
セグメント利益又は損 失(△)	1,180	△521	443	1,103	△73	1,029	△869	159

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業および環境事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△869百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△871百万円および棚卸資産等の調整額1百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メカトロシステム事業」において、当社が(株)メカトロジャパンおよびOMJP(株)の株式を取得したことにより、のれんの額が228百万円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設 備事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,667	7,089	6,855	32,611	102	32,714	—	32,714
セグメント間の内部 売上高又は振替高	357	50	196	604	96	700	△700	—
計	19,024	7,139	7,052	33,216	199	33,415	△700	32,714
セグメント利益又は損 失(△)	1,270	△1,210	1,634	1,693	△62	1,631	△934	697

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、洗浄事業および環境事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△934百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△941百万円および棚卸資産等の調整額7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メカトロシステム事業」において、当社が(株)ネアガリの株式を取得したことにより、のれんの額が116百万円増加しております。